

授 業 科 目	装具学 I (体幹装具)		
教 育 内 容	専門分野	基礎義肢装具学	
担 当 教 員	吉岡久恵、野原耕平		
学 年	1	単 位 数	3
開 講 時 期	後期 (金曜日 1-4 限)	時 間 数	講義 30 時間、実習 90 時間

<b>■ 授 業 概 要</b>	
<p>本科目では、疾患に対して必要となる体幹装具の機能について、講義とセミナーにより学習していく。実習では、モールド型、ナイト型の採型、製作、仮合わせ、適合までを行う。加えてジュエット型、C.A.S.H.型、SOMI の既製品を用いて適合を行うことにより、体幹装具に関する理解を深める。</p>	
<b>■ 到 達 目 標</b>	
<p>1) 体幹装具の構造、機能について理解する 2) 体幹装具の採型、製作、適合を習得する</p>	
<b>■ 授 業 内 容</b>	
第 1 回	【講義】「オリエンテーション」「体幹装具概論(解剖・機能解剖含む)」
第 2-4 回	【実習：腰仙椎装具モールド型】 ＜採寸及び採型＞学生同士での採寸及び採型（ギプス包帯法）
第 5,6 回	【講義】「脊椎の解剖・機能解剖」、「姿勢と腹腔圧」
第 7-10 回	【実習：腰仙椎装具モールド型】 ＜陽性モデル製作＞ギプス注型、陽性モデル修正
第 11-14 回	【実習：腰仙椎装具モールド型】 ＜支持部製作＞プラスチック板切り出し、プラスチック成形、トリミング
第 15-22 回	【実習：腰仙椎装具モールド型】 ＜仮合わせ＞支持部適合の点検、不適合箇所の修正 ＜仕上げ＞トリミング、前当て取り付け、ベルト取り付け ＜評価＞提出
第 23-26 回	【講義(セミナー)】 関連医学レポート発表 1-5、関連医学レポート発表 6-10、
第 27 回	【講義】「体幹装具の種類、構成要素」
第 28-30 回	【実習：腰仙椎装具ナイト型】 ＜採寸及び採型＞学生同士での採寸及び採型（ギプス包帯法）
第 31-52 回	【実習：腰仙椎装具ナイト型】 ＜陽性モデル製作＞ギプス注型、陽性モデル修正 ＜装具支持部製作＞金属の曲げ加工練習、骨盤帯・後方支柱・胸椎バンド・側方支柱の加工（切削・曲げ・穴あけ）、各部の仮止め、内張の切り出し・仮止め ＜仮合わせ＞支持部適合の点検、不適合箇所の修正 ＜仕上げ＞各部の結合（リベット）、ベルト取り付け、腹部前当て取り付け、内張の結合（接着） ＜評価＞提出
第 53,54 回	【講義】「頸椎疾患と装具療法」
第 55,56 回	【実習：胸腰仙椎装具ジュエット・C.A.S.H.、頸胸椎装具 SOMI プレースの調整】 学生同士での調整、支持部適合の点検
第 57-61 回	脊椎疾患セミナー1-10

## ■ 評価方法

本科目の評価は、「中間試験」、「最終試験」、「製作実習」、「発表」の各項目での評価を総合して行う。

※提出物において期限を守れなかった場合は、基本的に評価は0点とする。

※発表担当日に発表できない場合は、基本的に評価は0点とする。

### 【評価配分】

中間試験	最終試験	製作実習	発表	合計
25%	25%	30%	20%	100%

## ■ 教科書

装具学 第4版

## ■ 留意事項

本科目では、体幹の解剖、運動などの基礎知識については理解しているという前提で授業を進める。

<発表：関連医学レポート>本科目に関連する医学用語を課題として割り当てる。資料をまとめ、スライドを用いて発表すること。

<発表：脊椎疾患セミナー>課題となる脊椎疾患を割り当てる。それぞれの疾患の特徴と、装具に求められる機能等を資料にまとめ、スライドを用いて発表すること。

### <担当教員の実務経験>

吉岡 久恵：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に9年間従事。本学科の専任教員として1年勤務。

野原 耕平：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に7年間従事。本学科の専任教員として8年勤務。